

BCGワクチン接種について



BCG ワクチンは結核予防ワクチンです

●BCG 接種後の針あとの正常な経過

接種後の一般的な経過



接種後7日以内に発赤、はれが出たら、接種医に受診！

針あとの写真をとる！

写真：公益財団法人結核予防会提供

●コッホ現象

すでに結核に感染している赤ちゃんに BCG 接種すると、通常より早く（接種後7日以内、多くは3日以内）に接種部位に発赤、腫れが強くなる場合があります。これを、「コッホ現象」といい、結核に感染したサインです。この変化(コッホ現象)に気づいたら、

- ① 2～3日以内に必ず接種医に受診してください。
- ② 接種後1週間目までは、毎日、スマートフォンなどで針あと部の写真を撮っておいてください。



QR コード

尼崎市ホームページ：結核(BCG 予防接種)について



兵庫県立尼崎医療センター 小児科 中橋 達 先生 より

結核は昔の病気ではありません。

現在でも非常にまれですが結核にかかり、発見が遅れたため後遺症を残したり、命を落としてしまうお子さんもいらっしゃいます。

BCG を打って数日以内に針あとが赤くはれた場合、この時点でお子さんが結核菌に感染している可能性が否定できません。仮に感染していてもすぐに対応すれば後遺症の心配はまずありませんので、接種後7日以内(多くは3日以内)に針あとが赤くはれたら速やかに BCG 接種した医療機関に相談してください。